

# 鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会 第1回会議 会議録

日 時 平成27年10月6日(火) 15時15分～16時50分  
場 所 鎌ヶ谷市役所6階 第1・2委員会室  
出席委員 菅野勝利委員、松林百合子委員、小島太朗委員、足立達昭委員、  
(敬称略) 駒林康一委員、久能剛一委員、布施高広委員、秋山秀一委員、  
坂元晋二委員、倉島哲也委員、篠塚紀子委員、榎本美紅委員  
欠席委員 片桐博子委員、山田圭子委員  
市出席者 皆川総務企画部長、山崎総務企画部次長、渡邊市民生活部次長、  
斉藤健康福祉部次長、鎗田都市建設部次長、柴田生涯学習部次長、  
事務局 鈴木消防本部次長、狩谷企画財政課長、  
大塚企画政策室長、高橋企画政策室主査、小暮主任主事  
(受託事業者) 株式会社日本能率協会総合研究所  
記 録 小暮  
傍 聴 者 なし

## (1) 委嘱状交付

市長から各委員に委嘱状を交付した。

続いて市長からの挨拶、各委員及び事務局の自己紹介を行った。

## (2) 委員長、副委員長の選出について

「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会設置要綱」第5条第2項の規定により、委員互選で委員長には秋山委員、副委員長には菅野委員と決定した。

## (3) 会議の公開について

## (4) 会議録署名人の選出について

「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」第3に基づき、委員会は原則として公開と決定した。

また、会議録署名人は、資料1の名簿順として、松林委員、小島委員と決定した。

## (5) 鎌ヶ谷市人口ビジョン(案)及び鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

(事務局)

～資料5・6・7に基づき、「国と地方における人口ビジョン・総合戦略について」及び「鎌ヶ谷市人口ビジョン(案)」を説明～

(秋山委員長)

私が冒頭のあいさつで申し上げた人口の推計であるが、ちょうど1年前に新聞で発表されていた記事だと、2040年に全国の約半分の自治体が消滅する可能性があるとして予測されている中、鎌ヶ谷市や八千代市、成田市は、人口が減少しないと申し上げたが、この鎌ヶ谷市人口ビジョン(案)を見ると、2020年以降、人口が減少に転じていることが分かる。

この検討会では、この人口ビジョンを踏まえ、今後鎌ヶ谷市で人口を減らさないためにどのように取り組んでいけば良いか、前向きな意見を頂ければと思う。

例えば、日本ハムファイターズも色々な取り組みを実施しているかと思うが、どのようなことを実施していけば良いか、話し合っていきたい。

(菅野委員)

2点質問があるが、人口ビジョンで掲載されている西暦や年号は、1月を基準とした1年か、それとも年度か。

もう一点は、人口推計(ページ3)で2015年の数値が、既にズレが生じているかと思うがいかがか。

(事務局)

(図表により異なるが)1月からを基準とした1年である。

人口推計については、2010年までは国勢調査の数値である。それ以降の2015年については、平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が発表した推計値を使っている。

2015年の人口については、4月1日現在の常住人口では、108,522人であり、ズレが生じている状況である。

よって、ページ17の将来人口推計では、直近の人口動態を加味し、ズレを修正した市独自推計を、赤色のグラフで掲げている。

(菅野委員)

了解した。

(秋山委員長)

それでは、次に「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」について、事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

～資料8・9・10に基づき、「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」について、説明～

(秋山委員長)

それでは、せっかくなので、事務局の説明を聞いて、思ったこと、感じたことなど各委員よりお話しいただきたい。

(布施委員)

鎌ヶ谷市の総合戦略では施策ごとに具体的な目標数値が示されていて素晴らしい。千葉県の総合戦略では「増加を目指す」といった目標設定も一部ある。また人

ロビジョンについては、鎌ケ谷市は目標値としているが、国、千葉県はあくまで推計、試算としている。

(菅野委員)

設定した目標値をおかしいという人はいない。

やはり、設定した目標値をどうやって達成していくのかが重要である。

鎌ケ谷市だから、この施策を実施していくというのがあると良い。

(坂本委員)

鎌ケ谷市の目指すべき方向としては、良いと考える。

(久能委員)

人口ビジョンのアンケートであるが、「鎌ケ谷市に住みやすい人」と「住みにくい人」の理由で、どちらも交通の便について挙げられているが、どうしてこのような結果となったのか、気になった。

指標については、例えば合計特殊出生率は、思い切った数値を設定されたと感じた。

(榎本委員)

ママとして感じていることは、既にこども支援課で動き出していることが多いと感じる。他市のママとも意見交換するが、どこの市も同じような事業を実施したのでは、なかなか人は集まらないのではないかと思う。

その中で、鎌ケ谷市の子育てコーディネータは、他市のように保育士ではなく、自分のような一般の市民をコーディネータとして置いており、とても特殊であると思う。このように、市民の声を取り入れることは、とても良いことだと思うので、このような取り組みを、たくさん実施していくと良い。

(駒林委員)

とてもプラス思考の目標値を掲げていると感じた。この会議で議論し、よりプラスになるよう、考えていけると良い。

(篠塚委員)

数値目標を、細かく設定しているのは、とても新鮮であり、分かり易いと感じた。

他市と同じような取り組みを実施しても、人口の増加には結びつかないことから、新鮮な施策に取り組んでいけると良い。

(足立委員)

仕事柄、色々な方面の人と話すことがある。

その中で、例えば、企業や学校を誘致できると良いという人がいた。

次回以降、この会議で良い案が出てくると良い。

(倉島委員)

個人的な感想としては、市からの転出を抑えるため、出生率の上昇を掲げているが、達成はなかなか厳しいのではないかと感じた。

(小島委員)

多くの施策やそれぞれの役割分担を掲げているが、その実現性について、今後十分に考えて実施していくことが重要であると思う。

本社でも、鉄道やバス、連立といった部門もあるので、持ち帰って検討させていただきたい。

(松林委員)

まちづくりとして、今商店は高齢化しており、これからは、若い世代のエネルギーがとても重要になってくると思われる。

## (6) 市からの依頼事項

(秋山委員長)

今回の会議に向けて、事務局から依頼事項があるので、説明をお願いしたい。

(事務局)

次回会議では、本日の説明をもとに、人口ビジョン（案）及び総合戦略（案）について、皆様と意見交換をする予定である。

案についての意見等を意見交換シート（資料12）にご記入いただき、10月16日（金）までに事務局までメール又はファクシミリにて送信いただければと思う。

もし時間の都合上、意見交換シートを提出できなかった場合や、16日（金）以降、ご意見があった場合でも、検討委員会の当日にご意見を言っていたいただいても、問題はない。

## (7) その他

(委員長)

最後に、委員または事務局より何かあるか。

(事務局)

今後のスケジュールと会議の進め方についてであるが、次回会議は、2回目を10月28日（水）の午前9時半、3回目を11月17日（火）午後2時から、本日と同じ場所で開催することを予定している。

次回会議では、事前に頂いたご意見を事務局で取りまとめたものを中心に議論を進めていく。

(委員長)

それでは、他に意見が無ければ、本日の会議はこれで終了とする。

以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年10月28日

氏名

松林 百合子

---

氏名

小島 太朗

---